

自治・共生・活力部会

5月10日（金）開催

(1) 区民と協働・協創する自治体

多 様 性

発言内容

- ① 大学生はエネルギーがあるので、一緒に活動して相乗効果を生み出すことができると良い。

答申のイメージ

- ① 大学生が地域に関わり、まちに新たな活気を生み出している。

スタートアップ

発言内容

- ① 区民が地域活動を自発的に行うのはむずかしい。区民と区が関わる仕組みをつくり、それにより面白いことが起きると区民に伝えることで、区民の活動を引き出すことができると良い。
- ① 区民が何かやりたいと思った時に相談できる窓口があると良い。
- ② 地域の団体などに所属していない区民が、やりたいことをできるよう、区から支援を受けることができると良い。
- ③ 区民が地域と関わるには、行動するきっかけや繋がるきっかけがほしい。SNSなどに困りごとを投稿すると、誰かが反応したりしてつながっていく事例がある。誰もが発信できて、誰もが見られる仕組みがあると良い。

答申のイメージ

- ① 誰もが、いつでも、気軽に、地域活動を始めることができる。
- ② 区は、区民の主体的な活動を支援している。
- ③ 区民同士が自ら情報を発信し合うことで、地域のつながりが拡散し、新たな行動が生まれている。

発言内容

協 働

- ① 区職員が地域に出て区民と一緒に活動する、又は区内の団体をつないで協働を作り出せると良い。協創するという方針を区が明確にするべきである。
- ② 地域住民の地域への参加・協力意識、まとめる力が弱くなっている。
- ② 地域の活動に中学生が参加できなくなっている。(先生の土日勤務が困難)
- ③ 区民と行政が問題を共有する仕組みが必要である。問題を共有し発信することで、皆が解決の方法を考えるようになると良い。
- ③ 地域の意見をまとめるところから専門家や地域の人が携われると良い。
- ③ 地域で共有できる地域資源がわかる地域資源のマップがあると良い。
- ④ 区民は個人ではつながっているが、団体同士があまりつながっていない。
- ④ 区内で活動している団体同士が、一緒に会議に参加するなど、もっと他の団体とつながる必要がある。

答申のイメージ

- ① 区職員は、自ら地域に出て、区民と協働し、地域課題を解決している。
- ② 区民は、地域活動への参加等を通して、地域に積極的に協力している。
- ③ 地域の問題が共有され、多様な地域人材により解決されている。
- ④ 個人や団体の垣根を越えた協力により、地域の問題が解決されている。

発言内容

そ の 他

- ① 区の組織は、縦割りで、どこに相談していいのかわからない。

<議論のPoint>

- ・区政への区民参加
- ・積極的な情報提供
- ・オープンデータの推進

答申のイメージ

- ① 区は、縦割りを解消したトータルなサポートを提供している。

(2) 違いを力に変える多様な連携

多 様 性

発言内容

- ① 地域は、みんな違ってみんな良い。違うから中野に人が集まる。
- ① 外国の人が自分らしく生きるには、地域に違いを許容する寛容さが必要である。
- ① 自由に活動できると楽しく生きることができ、違いが生まれる。
- ② まちを小さいエリアで考え、このエリアをどう楽しくできるのか考えることで、まちの違いが生まれる。
- ③ 多様性を考える上で、文化は大きな影響力がある。中野には文化振興条例がない。中野だからできる文化事業をするため、指針が必要である。
- ③ 文化・芸術振興には多大な費用がかかるように見えるが、積み上げれば費用を上回る効果がある。
- ④ 障害者の作品制作に、デザイン事務所や区が関わることで、付加価値が生まれ、利益を出すことができ、障害者の工賃となると良い。
- ⑤ 性に対する考え方も多様化しており、男女に分類されない第3のトイレもある。

答申のイメージ

- ① 違いが集まり、生まれるまち。
- ② 地域住民の主体的な活動により、地域ごとの特色が生まれている。
- ③ まちの持つ多様性が、文化活動を通じて区民に共有されている。
- ④ 障害の有無にかかわらず、区民が持つ技能の価値が高まっている。
- ⑤ 多様な性のあり方が受け入れられ、配慮されている。

スタートアップ

発言内容

- ① 中野の文化は、ポップカルチャー寄りの特徴がある。
- ① 中野には、国の文化振興施策のジャンルに含まれない人がたくさん集まっている。その面白さをすくい上げる取り組みが必要である。
- ② 区の施設だけではなく、中野のまちなかでイベントが行われ、区民が日常的にイベントに参加できると良い。
- ② まちなかで行うイベントは、費用をかけずに仕組みをつくるのが大事である。費用をかけない方が、人が関わり継続性が高まる。

答申のイメージ

- ① ポップカルチャーなど、中野ならではの文化活動が活発に行われている。
- ② 日常的に、まち全体を舞台とした多様な文化活動が、自主的・継続的に行われている。

発言内容

協 働

- ① 違う分野で活動している人が集まり、話をするすることで、力を発揮する。
- ① 行政に任せるだけではなく、区民や団体が自分たちでも行動することが大事である。

答申のイメージ

- ① 違いを持つ人たちが集まることで、新たな力や行動が生まれている。

発言内容

そ の 他

- ① まちづくりは、整備されすぎると人が集まらない。活気が生まれるには、雑多なエリアが必要である。

<議論のPoint>

- 多文化共生（外国人の増加）
- LGBTなど多様な価値観
- 自治体間連携

答申のイメージ

- ① 新しさと懐かしさが同居することで、活気が生まれている。